

1. アンケート調査について

1-1. 調査の目的

本調査は、高層・超高層住宅からの避難を前提に、『高層集合住宅の居住者間コミュニティ形成』の必要性についての基礎的な検討を目的としている。国内外において災害弱者を考慮した避難安全対策には、ハード面（施設・設備）での研究が進んでいる一方で、これをいかにソフト面（誘導対策・維持管理）と結びつけるかという課題がある。例えばエレベーター避難や一時待機避難場所の優先使用順位や、非常時の災害弱者のサポート体制が住民間で事前構築などが挙げられるが、こうした仕組み作りが一つの大きな目標であり、本調査および研究は、高齢者を中心とした災害弱者のソフト面の避難安全対策にあたる。

1-2 アンケート調査の方法

アンケート対象として選定する際に、高層・超高層(高さ60m以上)集合住宅であること、都心地域に近いものを中心に選定する。これは、都心地域を中心に超高層集合住宅が増加していること、また都心地域に居を構える人は生活や交通の利便性を求める傾向にあることを選定理由としている。調査人員の都合上、阪神間に限定して抽出しているので今回の調査が全体の傾向とは言い切れず、地域ごとの傾向等、今後調査・検討していく必要がある。

次項に示す8つの高層集合住宅を選定した。

1-2-1 調査対象建築物概要

- ・ Aマンション 【大阪府 43階建 賃貸】
…四周を計画道路で囲まれた共同住宅・公益施設・業務施設等からなる複合用途建築物。都市のランドマークを形成する。
- ・ Bマンション 【兵庫県 27階建 分譲】
…第一種市街地再開発事業として都市計画決定された地区に立地する。
- ・ Cマンション 【兵庫県 24階建 分譲】
…95年の阪神大震災で大きな被害を受けた地域に立地する。「震災復興総合設計制度」の適用を受け、再建されたもの。
- ・ Dマンション 【兵庫県 19階建 分譲】
…震災復興第二種市街地復興再開発事業として、都市計画に決定された地域に立地。
- ・ Eマンション 【兵庫県 36階建 賃貸】
…神戸市、神戸市住宅供給公社、住宅・都市整備公団によって、地区全体で焼く1,700戸の都市型住宅と地域拠点施設、公共施設の整備が進められている地区に立地。

- ・ Fマンション(F1・F2マンション) 【兵庫県 26階・14階建 分譲・賃貸】
 …神戸の都心から 17km 離れた丘陵地帯を開発した新市街地に立地。計画敷地内に 8 棟の集合住宅があり、うち高層の 4 棟を調査対象とする。4 棟のうち、26 階建てのものが 2 棟、14 階建てのものが 2 棟あり、それぞれ計画は同じものであるので、前者を F1 マンション、後者を F2 マンションとして扱う。
- ・ Gマンション 【大阪府 36階建 分譲】
 …都心からやや離れた住宅地区に立地。市営地下鉄が通るなど交通のアクセスは良い。
- ・ Hマンション 【兵庫県 28階建 不明】
 …六甲アイランドの住宅街区に立地。多種機能型複合都市として街づくりが行なわれている。

1-2-2 アンケートの回収状況

A) マンション別回収状況 (図 1-2-2a)

マンション	配布数	回収数	回収率
A マンション	400	50	12.5
B マンション	180	40	22.2
C マンション	270	46	17.0
D マンション	150	30	20.0
E マンション	300	58	19.3
F1 マンション	230	38	16.5
F2 マンション	160	28	17.5
G マンション	330	33	10.0
H マンション	200	49	24.5
合計	2220	372	16.7

図 1-2-2 a マンション別回収状況

B) 性別ごとの回収状況 (図 1-2-2b)

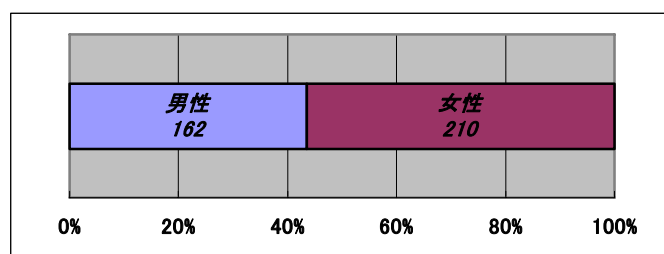


図 1-2-2b 男女別回収状況

C) 年代層別の回収状況 (図 1-2-2c)

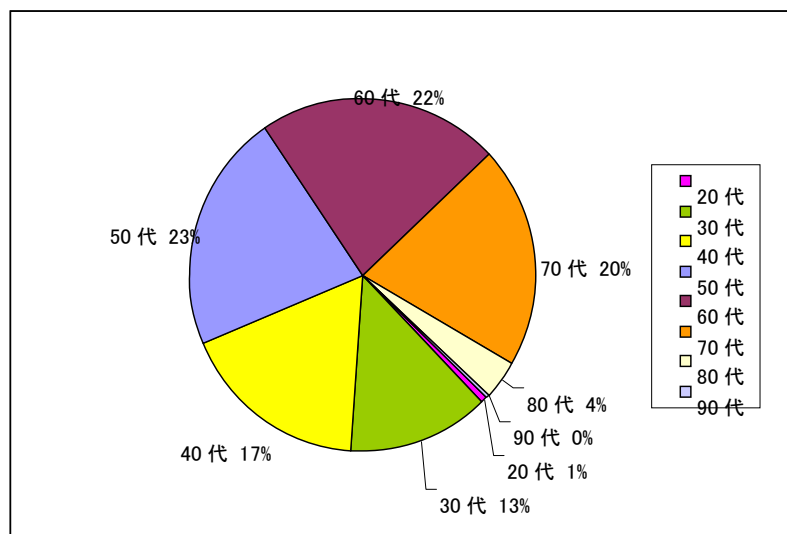


図 1-2-2c 年代別回収状況

1-2-3 調査票について

A) アンケート票の記入者について

…本論で取り上げる高層マンションのコミュニティとは、世帯間同士での普段の生活でのつながりを指すため、世帯を代表する世帯主あるいはそれに代わる人が回答する。

B) 配布と回収

配布の方法 …上記の 8 つの高層マンションの全住居に投函配布

回収の方法 …返信封筒による郵送回収

C) 調査期間

配布期間 …平成 18 年 11 月 26 日(日)～11 月 29 日(水)

回収期間 …平成 18 年 11 月 27 日(月)～12 月 25 日(月)